

ヒマワリの種40キ 福島へ

23日被災地支援マツサージ

宇治市『のぞみ鍼灸整骨院』

ヒマワリを通じて被災地との絆を深める『福島ひまわり里親プロジェクト』に協力した宇治市伊勢田町中山「のぞみ鍼灸整骨院」(小川由智院長)から、約40キの種が現地に届けられた。



励ましの笑顔添えて現地にヒマワリの種を届ける

福島県から全国の希望者にハイブリッドサンフラワーというヒマワリの種を送って育ててもらい、開花後に獲れた種を再び福島に集めて、復興のシンボルとなる花畑を作ろうという取り組み。

県内の若手経営者や農家で組織された同プロジェクトでは、袋の作成や発送作業を震災で仕事を失った福祉作業所などに依頼。注文することが被災者支援にもつながるなど、様々な思いが込められており、これまでに約11万人が賛助参加。種と一緒の数多くの励ましの手紙や絵も寄せられている。

そして、このプロジェクトにいち早く賛同した「のぞみ鍼灸整骨院」は槇島町の畑で約400本のヒマワリを咲かせ、約3万個の種を収穫。温かいエールを添えて福島まで届けた。

また、同院ではチャリティーマツサージ施術費用を義援金として被災地に送金する活動

も行っており、あす23日(祝)には宇治市大久保町旦椋9・19の「のぞみ整骨院・大久保」で開催。

午前9時から午後5時まで、10分500円、20分1000円でマツサージを行い、その施術費すべてを送金する。

さらにチャリティーパーザーも同時開催。午前10時と午後3時からハンドベル演奏と落語会もあり、管理栄養士がつくる体調に合わせた健康ジュースも試飲できる。問い合わせは同院大久保Tel 39・4154まで。